

●東京都町村議会議員講演会（東京都） 浅沼 隆章
令和8年5月7日 15時00分～17時00分

目的：議員の研修

演題 「議会の災害対応とBCP」

講師 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部まちづくり学科
教授 鍵屋 一 氏

成果

本講演では、災害時における議会の役割とBCP（事業継続計画）の重要性について、能登半島地震等の実例を交えながら解説が行われた。

講師は、災害対応の本質を「経験のない事態への緊急対応」とし、人間は「正常性バイアス」により自分だけは大丈夫だと思い込みやすいため、平時からの備えと地域のつながりが不可欠であると強調した。

また、少子高齢化が進む日本社会においては、高齢者や障害者など要配慮者への支援体制整備が極めて重要であり、自助・共助・公助を組み合わせた地域防災力の向上が求められるとの指摘があった。

特に、「防災は単なる災害対策ではなく、人と人とのつながりを再構築し、地域の幸福度を高める取り組みでもある」という視点が印象的であった。

2. 主な内容

(1) 災害対応の難しさと災害関連死

災害時には、「やったことがないこと」と「急がなければならないこと」が同時に発生するため、混乱や失敗が起こりやすい。講師は、「大きな失敗を避けること」が重要であり、平時から計画と訓練を重ねる必要性を説いた。

また、能登半島地震では、地震や津波による直接死以上に、避難生活による災害関連死が多発したことが紹介された。災害関連死を防ぐためには、

- ・住宅の耐震化
- ・避難支援
- ・避難生活支援

の三点が特に重要であると説明された。

(2) 避難生活とトイレ対策の重要性

講師は、「まずトイレがなければ何も始まらない」と述べ、災害時のトイレ確保の重要性を強調した。

トイレ環境が不十分になると、水分摂取や食事を控えるようになり、体力低下や感染症、エコノミークラス症候群などにつながる。結果として災害関連死の増加を招く

ため、公共施設・避難所・家庭における簡易トイレの備蓄と使用訓練が必要であるとの説明があった。

(3) 地域のつながり（共助）の重要性

講師は、現在の日本社会における最大の課題の一つとして、「人のつながりの弱体化」を挙げた。

高齢化により「自助」が弱まり、行政職員削減により「公助」にも限界がある中で、「共助」の重要性が一層高まっている。しかし、近所付き合いの希薄化により、災害時に助け合える関係が失われつつあると指摘した。

その具体例として、秋田県の「なまはげ文化」が紹介された。地域住民が「なまはげ台帳」を通じて高齢者や要支援者を把握し、非常時に支援する仕組みは、地域コミュニティによる防災力の象徴であると説明された。

また、従来型の堅苦しい避難訓練ではなく、「避難散歩」のような日常的な交流活動を通じて顔見知りを増やし、「あの人大丈夫かな」と互いに気遣える関係づくりが重要であると述べられた。

(4) 要配慮者支援の必要性

災害対策の目的は、「全員が安全に安心して避難生活を送れること」であり、とりわけ高齢者や障害者など要配慮者への支援が重要であるとされた。

講師は、要支援者本人や家族は遠慮して支援要請が遅れる傾向があるため、

- ・誰が誰に連絡するのか
- ・誰が安否確認を行うのか

を事前に具体化しておくことが必要であると説明した。

また、個別避難計画についても、専門用語を避ける、カラー化するなど、当事者に配慮した工夫が求められるとの指摘があった。

(5) 災害時における議会の役割

講演では、災害時における議会の役割について重要な提言がなされた。

平常時の議会は行政監視機能を担うが、災害時には従来通りの議会運営を行うことで、行政職員が答弁準備等に追われ、本来の災害対応に支障をきたす場合がある。

そのため、災害発生直後は、

- ・議会活動を一時休止する
- ・議員は地域支援・情報収集に徹する
- ・情報を災害対策本部へ一元化する

など、行政と連携した対応へ切り替える必要があると説明された。

また、そのためには、平時から議会BCP（事業継続計画）を策定し、役割分担や情報共有ルールを明確化しておくことが不可欠であるとされた。

講師は、「魂の入らない計画はただの紙である」と述べ、計画策定だけでなく、訓練と実践を重ねる重要性を強調した。

3. 所感

本講演を通じ、防災対策は行政だけで完結するものではなく、地域住民・議会・民間事業者が連携しながら取り組むべき課題であることを改めて認識した。

特に、高齢化が進む現代社会では、要配慮者支援を前提とした防災体制の構築が不可欠であり、そのためには平時からの顔の見える関係づくりが重要であると感じた。

また、議会においても、災害時に行政の負担とならないよう、平常時とは異なる役割を認識し、BCP 策定や訓練を進める必要性を強く感じた。

防災は単なる危機管理ではなく、地域のつながりと幸福度を高めるまちづくりそのものであるという講師の考えは、大変示唆に富むものであった。